

当院コード	レジメン名	コメント	催吐性リスク	投与 期間	コース 期間	薬剤情報 薬品名：数量 投与日
HAN006	wPTX(100mg/sqm 6投1休)外来05 頭頸部癌	weekly 6投1休 進行・再発食道癌	軽度催吐性リスク	1	6	パクリタール注射液:100mg/㎡ Day1
HAN008	weekly CDDP+RT療法 外来02頭 頸部癌	RTに同時併用 外来実施の際はRT室との調整必要	高度催吐性リスク	1	6	シスプラチン点滴静注:40mg/㎡ Day1
HAN010	PTX+Cmab【初回】療法 外来02 頭頸部癌	Day1：Cetuximab(400mg/㎡)， PTX(80mg/㎡) 2コース目以降はHAN011 休業完了日 day7	軽度催吐性リスク	1	6	アービタックス注射液:400mg/㎡ Day1 パクリタール注射液:80mg/㎡ Day1
HAN011	PTX+Cmab【2回目～】療法 外来 02頭頸部癌	Day1：Cetuximab(250mg/㎡)， PTX(80mg/㎡) 初回レジメンはHAN010 休業完了日 day7	軽度催吐性リスク	1	6	アービタックス注射液:250mg/㎡ Day1 パクリタール注射液:80mg/㎡ Day1
HAN012	PTX+Cmab (biweekly) 療法 外 来02頭頸部癌	Day1：Cetuximab(500mg/㎡)， PTX(80mg/㎡) Day8:PTX(80mg/㎡) Cmab2週ごと	軽度催吐性リスク	8	6	アービタックス注射液:500mg/㎡ Day1 パクリタール注射液:80mg/㎡ Day1 Day8
HAN014	weeklyCmab（2回目以降） 外来02 頭頸部癌	day1：Cetuximab 250mg/㎡（基本、放射 線併用） PDもしくは許容できない有害事象 が発現するまで投与	最小度催吐性リスク	1	6	アービタックス注射液:250mg/㎡ Day1
HAN017	DTX+HER【8mg/kg】(3週毎)外来 02頭頸部癌	PDまで ※トラスチマブBSに唾液腺癌適応ない ためルセチン使用	軽度催吐性リスク	1	20	ドセタキセル点滴静注液:70mg/㎡ Day1 ハーセプチン注射用:8mg/kg Day1
HAN018	DTX+HER【6mg/kg】(3週毎)外来 02頭頸部癌	PDまで ※トラスチマブBSに唾液腺癌適応ない ためルセチン使用	軽度催吐性リスク	1	20	ドセタキセル点滴静注液:70mg/㎡ Day1 ハーセプチン注射用:6mg/kg Day1
HAN019	Pembrolizumab(3週毎)外来02再発 転移頭頸部癌	day1：Pembrolizumab HAN020、6サイ クル終了後に開始 PDまで	最小度催吐性リスク	1	20	キートルダ点滴:200mg Day1
HAN021	Nivolumab（2週毎） 外来02頭頸部 癌	PDまで	最小度催吐性リスク	1	13	オブジーボ点滴静注液:240mg Day1